

関西国際空港 航空機騒音予測図 (修正案)

概要版

資料 4

- 全ての陸域において、環境基準以下となりました。
- 2期事業アセスメント時の騒音予測図と比較して、範囲が縮小しました。



《予測条件》

暫定案の予測条件を基本に以下の条件を修正

- 国土交通省から提示された飛行ルートの適用は、昼間時間帯 (6:30~23:00) に制限し、それ以外の深夜・早朝時間帯は、海上ルートを採用。
- 昼間時間帯の北風運用時の着陸ルートについて、厳しいケースを想定し、陸域に概ね1km・1.5km・2.5kmに近づく案とした。
- 陸域周辺で出発・到着機が交差する閑空到着の北淡路ルート、淡路ルートの飛行高度を制限高度の4,000ftから1,000ft引き上げて飛行する案とした。

《予測モデル》

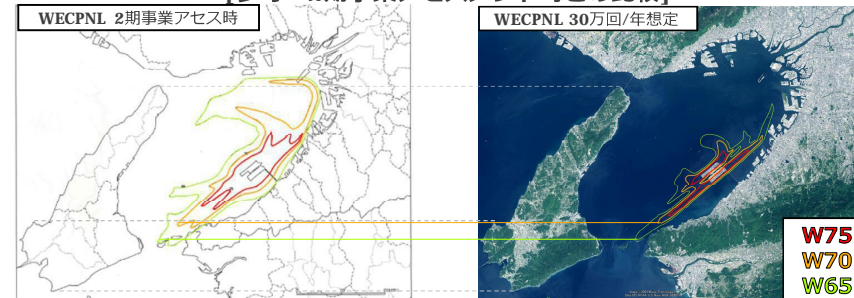
- ◆ Lden57・62、WECPNL (以下、W値) 70・75
航空機騒音予測システムJCABモデル※1
- ◆ Lden52、W値65
JCABモデルをベースとした関西独自モデル※2

【航空機騒音に係る環境基準値】

	地域の類型	Lden	W値 (旧環境基準)
I	専ら住居の用に供される地域	57dB以下	70以下
II	I 以外の地域	62dB以下	75以下

地域の類型は都道府県知事が指定 (淡路島は指定されていないが、参照値として比較評価)

【参考 2期事業アセスメント時との比較】



- (※1) 国土交通省の航空機騒音予測モデルであるJCABモデルは、指標が現在のLdenに変更される前の「航空機騒音に係る環境基準について」で規定されていたW値70 (Lden57相当)、W値75 (Lden62相当) 以上の航空機騒音レベルの再現を主目的としているため、Lden52については、JCABモデルをベースとした関西独自モデルにて作成。W値75、70に対応するLdenの値はそれぞれ62dB、57dBとなるが、これらの値はあくまで統計的に適したものを設定しているため、W値75、70の騒音がすべてLdenでは62dB、57dBになるとはかぎらない。
- (※2) 関西独自モデルとは、JCABモデルをベースに、関西独自のデータ補正を行ったものであり、関西地域の新飛行経路案に対応するため、高度制限が必要な個所についてプロファイルの高度補正を行ったもの。

【作成：関西エアポート(株)】

【地図出典：国土地理院ウェブサイト】